

## 吹田市民営化保育所移管先選定委員会(第5回) 議事要旨

- 1 開催日時  
平成29年2月3日(金) 午後5時40分～午後9時20分
- 2 開催場所  
吹田市役所中層棟4階第3委員会室
- 3 出席委員  
9名
- 4 次第
  - (1) 開会
  - (2) 吹田保育園移管先候補事業者の面接調査
  - (3) 吹田保育園移管先候補事業者の最終審査
  - (4) 答申(吹田保育園分)
  - (5) 閉会
- 5 議事(要旨)

### 1 開会

委員長： 第5回選定委員会を開催いたします。会議の成立を事務局にお願いいたします。

事務局： 本日の出席委員は9名でございます。委員数の半数以上の御出席を得ておりますので、本日の委員会が成立している旨、ご報告いたします。

### 2 事業者の面接調査

委員長： それでは、次第2 吹田保育園移管先候補事業者の面接調査について、事務局からの説明を求めます。

事務局： 【資料】について説明

委員長： 面接調査に先立ち、各事業者の財務状況等について、会計に関して専門的知

識を有する〇〇委員に御説明をお願いします。

委員： 【各事業者の財務状況等】について説明。

委員長： ありがとうございます。引続いて委員間協議を行います。

(委員間協議)

委員長： 委員間協議が終わりました。これから各事業者の面接調査を行います。

#### 面接調査

(社会福祉法人こばと会入室)

委員長： 社会福祉法人こばと会の企画提案を受けます。

こばと会： こばと会は、1968年から法人設立の準備を行い、今年で48年になります。はじめにこばと保育園を開所し、その後は高齢者関係の介護施設も開所して、現在は7つの施設を持つ法人となっております。こばと保育園の運営は約30年になります。

保育所は3か所に加え、小規模保育事業を昨年10月から始めました。定員は19名ですが、現在は年度途中ということもあって、10名の子ども達を保育しております。

どの保育所も、待機児童対策で定員よりも10名程度多く子ども達の保育をしております。48年間で大きな事故もなく、当時ほどの保育所も行っていなかった産休明け保育や7時から19時までの長時間保育をしております。また、夜間保育や病後保育等の様々な事業を皆さんの要望に応じて行っております。

保育所や介護施設が増えてきましたが、どの事業も私達自らがやりたいから始めたのではなくて、地域の方に要望されて行ってきました。だからこそ地域の方に色々と助けていただいて、事故もなく運営することができたと思っております。

吹田保育園を引き受けるのであれば、南保育園に引続いて2園目になりますので、委員の皆さんにとっても疑問があるのではないかと考えています。南保育園のときは、地域が違うこともあり難しいと思っておりましたが、地域の方にお願いされて応募を行いました。現在は、南保育園の保護者の皆さんや市とお

話し合いをしながら、うまく進んでいると思っております。

今回の吹田保育園については、地域のお祭りやお互いの園で子ども達の交流がありますし、保護者と保育士と一緒に子育ての勉強会をしたりしています。その結果、子ども達が小学校へ行った後も学童保育で一緒になったりして仲良くしており、うまくいっていると思っております。そういった現状を踏まえて、地域の方から、ぜひこぼと会にお願いしたいという声をいただきました。

今回は人材確保が非常に難しいですが、なんとか皆さんの要望に応えたいと思って準備を行い、申込書類を提出いたしました。委員の皆さんに書類をご覧になっていただき、判断をお願いしたいと思っております。

現在進めている南保育園の三者懇談会を行う際にも感じていますが、保護者の不安と子ども達への負担を極力少なくするような保育の引継ぎをしなければいけないと考えています。公立保育所が行っている保育をしっかりと学びながら、こぼと会らしい保育を行いたいと考えております。

申込書類には、昨年度受審した福祉サービス第三者評価の結果も添付しています。まだまだ改善すべきことを御指摘いただいておりますので、職員一同で業務の改善を行っております。現在、南保育園の引継ぎを進める中で考えていることですが、こぼと会が作成した各種マニュアルと公立保育所の様々なマニュアルを比較し、良い所を取り合う様な形で運営していきたいと思っております。

看護師の配置についてです。看護師の配置はかなり苦勞していますが、こぼと保育園ではしっかりと配置して健康管理に努めています。また南保育園でも、保護者の方がとても心配しておられますが、平成 30 年 4 月には看護師配置の目途がついております。看護師は一般の募集ではまず応募がないので、人伝えに声をかけながらお願いして来ていただくこととなります。

保育士は看護師同様に確保が難しいのですが、インターネット等も活用しながら採用活動を行っております。その結果、新卒の保育士だけでなく、保育の世界を離れて他のお仕事をされていた保育士も確保することができました。また、こぼと会が運営する保育所で働いていましたが、結婚等を理由に辞めた職員が 4 名、来年 4 月から戻って来てくれることになりました。色々な手法を用いて保育士の確保に努めていきたいと思っております。

現在、こぼと保育園では 22 時までの長時間延長保育等をしてはいますが、人材やノウハウ、設備面での課題がありますので、すぐに吹田保育園で実施するのは難しいかもしれません。まずは吹田保育園が行っている保育時間をしっかりと引き継ぎたいと思っております。吹田保育園で行っている一時預かりについてはこれから検討しますが、10 月に開園した小規模のこぼとこ保育園で、4 月から一時預かりをしていきたいと思っております。同じ地域であり、ニーズもありますので、整合性を持たせて効率よく一時預かりができないか考え、実

施していきたいと思っております。

こぼと会の保育は公立の保育所と大差はありません。公立保育所の先生達と学びながら進めていることもあります。公立保育所が行っている保育に、こぼと会の利点を生かして保育をしていきたいと思っております。

給食についてです。吹田保育園の厨房を見させていただきましたが、かなり古くなっており、設備もこぼと保育園とは全然違います。こぼと保育園での給食と同じメニューを提供することは難しいかなと思っておりますが、吹田保育園を建て替える際には厨房も最新の設備にして、同じ献立を提供したいと思えます。今、公立保育所も頑張って給食を提供されていると思えますが、より良い給食を提供したいと考えています。

委員長： 社会福祉法人こぼと会の企画提案が終わりました。次に質疑応答を行います。

委員： 公立の保育を引き継ぎながら、こぼと会らしい保育を行いたいというお話がありました。現在、南保育園で保育の引継ぎをされていますが、公立の保育とこぼと会らしい保育について考えるうえで、どういった印象をお持ちでしょうか。また、困っていることや、保育の違いを感じる事等があれば教えていただけますでしょうか。

こぼと会： 公立保育所と一緒に保育研究を行っていますので、保育について大きな違いはないと思っております。ただ、こぼと会は4歳児の合宿や5歳児のキャンプ等を行っておりますので、様々な保育をやり過ぎている感はあります。子どもの発達にとってどうなのかまだ研究する必要はあるのですが、保護者の皆さんと話し合いをしながら、こぼと会の保育に近づけるものは近づけますし、改善すべきところは改善していけるようにしたいと思っております。

委員： 合宿やキャンプの話がありましたが、こぼと会が行っている多彩な保育について公立保育所の保護者の方は前向きなのでしょうか。それとも現状維持をお望みでしょうか。

こぼと会： まだ、そこまで話を行っていません。南保育園は5歳児で合宿を行います。こぼと会は4歳児で合宿をして、5歳児でキャンプに行きます。以前は2泊3日でしたが、現在は1泊2日にして費用が少し安くなりました。こぼと会では、毎月お金を積み立ててキャンプに行っていますが、その辺りのやり方については、これからの話し合いが必要と思っております。

委員： 南保育園に引き続いて2園目ですので、職員の確保という点で非常に大変な部分があると思います。職員の確保と職員定着のための方策などがありましたら教えてください。

こばと会： 職員確保のためにインターネット等を活用しています。学生はもちろん学校の方とも色々な交流をしています。公立保育所を引き受けるためには、新採職員ばかりを集めていても難しいと思いますので、吹田や大阪に限らず全国単位で経験者を採用するために転職サイト等を活用しています。吹田市は保育士宿舍借上助成事業を行っているので、それも活用して地方からの保育士も確保しております。新たな取組みとして高校にもアプローチを行っています。今は貧困化が一部で進んでおり、一人親世帯等で進学を希望しても難しいご家庭があります。そういったご家庭にも補助金等を使って学校に行けることをお伝えしたりしています。

職員の定着を進めるために、職員と園長等が定期的に面談をしながら、仕事での悩みや職場での人間関係、プライベートのこともお教えてもらえる範囲で相談に乗っております。こばと会は吹田市内で園数が多く、大変な部分もありますが、色々行き詰った職員が異動して、新たな園で気持ちを切り替えて保育ができるというメリットがあります。職員の雰囲気や風通しはとても良くなっており、小規模保育事業を含めた4園で年度末の退職は非正規職員1名だけです。その他の職員は全員4月以降も継続して働いていただきますので、定着は進んでいると考えております。

委員： 人材確保については、こばと会に元々在籍している保育士といわゆる潜在保育士等を掘り起こしていこうという計画だと思います。ただ、その際に両者の間でコンセンサスを得るのは大変なのではないかと思います。例えば、30代でフロアリーダーの在籍保育士と50代の潜在保育士がともに働く場合の給与面等はなかなか難しい部分ではないでしょうか。

こばと会： こばと会の給与表を今年度から変更しています。保育園以外のお仕事をされていた期間についてもある程度考慮するように改善しました。

委員： 建て替えを行う場合は、その期間中の園はお休みですか。

こばと会： 休みません。その期間はどこかにプレハブの園舎を建てるか、小規模保育事業を行っている建物を使うか考えます。

委員： 建て替えを行う場合は、全面建て替えですか。

こばと会： 吹田保育園の園舎はかなり古いので、補助金を活用しながら建て替える方が良いと思っています。普段から保護者の皆さんと職員でバザーをしたりしながら寄付金を集めております。自己資金を貯めて、借入金はできるだけ少なくしたいと考えています。

委員： 今の公立保育所にサービスを追加するとしたら、夜間の延長保育を予定されていますか。

こばと会： 職員の合意が必要ですので、話し合うこととなります。すぐに夜7時以降の保育を行うことは難しいです。基本的には、これまでと同じ保育内容になると思います。

委員： 今後5年間でゆっくりと運営費が増加していく事業計画となっています。人件費等を中心に増加していくというお考えでしょうか。

こばと会： 人件費は給与が上がっていきますので増加すると考えています。ただ、こばと会は複数の園を運営していますので、人事異動を行いながら各園のバランスを取っていこうと考えております。

委員： 吹田保育園を引き受けるとしたら、看護師を確保するのが大変だと思います。どのような確保策を考えておられますか。また、現在はどのような考えで看護師の配置を行っているのか教えてください。

こばと会： 看護師の確保は決して簡単なことではありませんが、看護師を配置しなければならない事業を引き受ける以上は、責任を持って配置するということです。

南保育園で目途がついた方もそうですが、法人内の保育所を利用されている保護者の方には看護師さんも多くいらっしゃいますので、積極的に声をかけていきたいと思っています。

また、法人内には特別養護老人ホームやグループホームがありますし、関わりのある診療所もあります。そこには看護師が多くおりますので、そういった方の情報を通じて確保していきたいと思っています。

子どもに何かあった場合には、専門職である看護師が適切な対応をすることが一番だと思います。保護者の方も安心ですし、病気以外のことでも専門的な観点から育児相談等を行うことができます。また働く職員にとっても看護師に

アドバイスを求めることができることは、大きな安心になります。色々なことを総合的に考えると、安心で安全な保育がするためには看護師が必要と思っています。

委員： こばと会は、吹田保育園と同じ地域でずっと公立の保育を見て来られたと思います。吹田保育園の保護者の中には様々な困難な事情を抱えている方もいらっしゃると思いますが、そういう方へのサポート等をどのように考えておられるのか教えてください。

こばと会： どの保育所でも、色々な課題を抱えておられる親御さんはいらっしゃいます。こばと保育園でも、そういった方に対して個人懇談や家庭訪問など様々なことを行いながら、きめ細かく対応しております。

吹田保育園でも様々な課題があり、保育士が非常に苦勞されていると聞いていますが、お互いに知恵を出し合いながら対応していこうと思っています。親御さんを育てることが子どもを育てることにつながりますし、とても大事な課題ですが、これまでの歴史もありますので大丈夫と思っています。

委員： 障がい児の受入れを積極的に取り組んでいる印象がありますが、吹田保育園を引継いだ後も続けていけますか。

こばと会： こばと保育園は、吹田市からの依頼を受けた支援が必要な障がい児を、基本的には受け入れてきました。その考え方は吹田保育園を引き継いだ後も同じです。

委員： 南保育園では、パートの先生方に残っていただくために給与面等で苦勞されていると聞いています。吹田保育園を引き継いだ後に、パートの先生方に残っていただけるか心配しています。

こばと会： できれば残っていただきたいと考えています。南保育園では面談が終わり、これから雇用条件の提示を行う予定です。吹田保育園でも同じ様に対応したいと考えています。公立保育所は朝夕にパート職員が配置されていますので、この時間帯の先生ががらっと変わるのは子どもにとっても負担になると思います。

委員： 現在、吹田保育園で行われている行事や保育内容で、引継ぎが難しいことはありますか。

こばと会： 基本的にないと思います。南保育園の方と現在お話をしていますが、まったく同じような取り組みをしていることもあります。また、現在も吹田保育園、東保育園、こばと保育園で5歳児のリズム交流をしていますし、どんぐり保育園と吹三幼稚園を加えた5園でなかよし運動会をしたりしています。

さらに、吹三幼稚園に地域の5歳児が集まり、小学校区毎にグループを分けて交流したりもしています。こういった行事も引き続き行っていけると考えております。

委 員： 給食や食育についての考え方をお聞きします。

こばと会： こばと会は、各園に調理員兼栄養士または管理栄養士を配置しています。そして、給食委員会という会議のなかで、給食の職員と保育士が年間の食育計画を作成して実施しています。こばと会の給食は、和食を中心にしながら季節の物を使っており、素材も教えながら食育に取り組んでいます。

委 員： 現在、こばと保育園では、民間警備会社のセキュリティシステムを24時間使っておられますが、吹田保育園においてもこのようなシステムを使用されますか。

こばと会： こばと会は全園でセキュリティシステムを導入しております。夜の保育園は無人的になりますのでセキュリティが必要ですし、昼間も不審者の心配があります。吹田保育園では電子錠がありますが、セキュリティシステムについても考えていきたいと思っています。

委 員： 吹田保育園は線路から近いですが、列車事故等が起こった場合の対応についてどのようなことを考えておられますか。

こばと会： 今、地震や災害についての危機管理や子ども達の避難等については、施設長会議の場などで検討を進めているところですが、吹田保育園近辺での列車事故については考えるに至っておりません。これから、子ども達の安全を守る保育ルールを作って行きたいと思っています。

委 員： 登園時に保護者の方が自転車や車に乗ってこられると思います。近隣への対応はどのようにされますか。

こばと会： こばと保育園でも吹田市のシルバー人材センターの方をお願いしています。

慣れた方が良いと思いますので、今吹田保育園さんに来られているシルバーの方に安全対策をお願いしたいと考えております。

委員： 地域の子育て支援に対する考え方について伺います。

こばと会： 地域の子育て支援には昔から積極的に関わってきました。こばと会の保育所に預けている方だけではなく、地域の若いお母さんたちが子育てに困っていることに対しても、耳を傾けて保育をしてきました。わたぼうしという相談窓口も設置しています。ずっと一貫して地域を見てきましたので、これからも地域の子育て支援には積極的に関わっていきたいと思っております。

委員： 先ほどお話があった小学校区における他園との交流を行う際に、工夫されていることがあれば教えてください。

こばと会： 何かを行う場合には、他園の方と必ず打ち合わせの会議を行います。その中で地域の担当保育士と様々な地域の情報を交換しながら、何が出来るかを話し合っています。

そんな中で、最近は新生児ママの会を開催することができました。2か月から4か月のお子さんをお持ちの保護者の方は、なかなか外に出る機会がありません。そういった方を対象として、こばと保育園や小規模保育事業所に子どもを連れて来ていただき、お母さん同士の悩みを共有したりします。退職した保健師にもボランティアで参加してもらい、アドバイスを رفتりもしました。

副委員長： 保育所は集団保育なので、安全面や保健面、衛生管理も非常に重要です。その点について、研修や職員間での情報共有等をされていますか。

こばと会： 昨今は感染症が流行することがありますが、こばと保育園には看護師がおります。また法人の中には、職員として内科医や小児科医がいますので、アドバイスをいただくこともできます。

研修等も行っており、研修で学んだことを他の職員に伝えていきますし、書面で学ぶだけでなく実際に消毒の仕方をデモンストレーションとして رفتりもします。

また、府立公衆衛生研究所に協力をしています。研究に協力する一環ではありますが、先生たちに保育所に来ていただき、色々なアドバイスをいただきながら衛生面の管理に努めております。

副委員長： 園長予定者に経験 37 年の方を予定されています。この方について教えてください。

こばと会： こばと会の定年は 60 歳で、40 年近く勤めて辞めた人もいます。そういった方をお願いしようと思っています。

委員長： 保育士のキャリアパスについてお尋ねします。キャリアパスをどのように考えて、処遇等に対してどのように反映させているか教えてください。

こばと会： 保育部分と介護部分は別になりますが、キャリアパスを作って職員に提示しております。給与表としては、有資格者の正規職員の給与、主任級の給与、副園長級の給与、園長そして理事職の給与に分けております。年齢に応じて昇格するわけではありませんので、最終的な定年時の給与も変わってきます。職務手当は園長、副園長、主任のほか、クラスの責任者にも支給しており、そのような形で処遇の差を設けています。

委員長： ヒヤリハットの記録をされていますか。

こばと会： 記録を行い、監査でも報告しております。また、細かいことや気をつけるべきことを書面にして、毎月の施設長会議の場で共有しております。

委員： 保護者や職員との合意を非常に大事にされている印象を受けました。今のこばと保育園では、保護者と定期的にお話をする場を作っていますか。また、吹田保育園を引継ぐ場合に、保護者会を維持されますか。

こばと会： 保育所運営で大切にしていることは、風通しを良くして保護者も保育士も子どもも地域もみんな仲良く一緒に育っていこうということです。こばと保育園では、園と職員の代表と保護者会の代表で、2 か月に 1 回三者運営委員会を行っています。その場で、病気の流行や事故、苦情の内容も含めた今の園の状況を書面でお伝えし、話し合いを行っています。また、様々な変更事項についても、保護者会の方と話し合っ合意のもとで行います。保護者の方と一緒に丁寧に考えていく姿勢を持って運営しております。

委員： こばと保育園では年に数回お弁当の日があります。公立保育所は、0 歳から 2 歳くらいまでは朝のおやつの時間があります。それぞれの園で違う部分がありますが、どのようにされていく予定なのか教えてください。

こぼと会： 今の公立のまま引き継ぐということですので、当面はこれまで通りにします。こぼと会でお弁当があるのは、調理室の消毒を行ったり、衛生面に対する対応が必要だからです。違いがある部分については、これから話し合いを行って、合意が得られたら変更することがあるかと思っています、

委員： こぼと保育園は3階建てで、床暖房もついていました。吹田保育園を建て替えるとすれば、どのようにしたいと考えておられますか。

こぼと会： 設計士だけでなく、実際に働く保育士や利用される方の御要望もお聞きしたいと考えています。限られた予算ですが、今の敷地で何が出来るかを考えていきたいです。当法人の保育園はすべて床暖房を完備しています。子どもにとってはもちろんですが、職員にとっても良い環境で働いて欲しいと考えているからです。

委員： アレルギーのあるお子さんが多くいらっしゃると思いますが、気をつけていることを教えてください。

こぼと会： アレルギー児については、お医者さんにしっかりと指示書を出していただき、全職員が書面で確認しています。献立表を毎月発行して、保護者の方にお配りすることで、職員とアレルギー児をお持ちの保護者の方からの二重の確認をしています。それぞれのクラスにホワイトボードを置き、差し替えのメニューについては保護者の方と確認、クラス担当の保育士と栄養士も確認、配膳時にも確認をして、担当職員が横について食べるようにしております。

委員長： 職員やスタッフのなかにアレルギーのある方はいますか。

こぼと会： 職員はいないです。

委員長： 成長したら治る人もいますか。

こぼと会： 今は医者からの指示に従って計画的に食べていきます。ご家庭と連携をしており、先にご家庭で食べてもらって、問題ないと確認してから園でも解除していくようにしております。4、5歳児になったらだいたい治るようですが、治らない子はアトピーになって出てきたりします。お子さんによって違いますね。

こぼと会： 時間が少なくなりましたが、一言だけお伝えさせていただきます。

社会福祉法人は様々な地域で、公益的な活動を行う義務があります。積極的に地域貢献を行い、少し背伸びをして色々な事業に前向きに取り組んで行くことが重要と思っています。この点については、全ての施設長が一丸となって取り組んで行こうと意思統一しているところです。

そう言った意味で、今回の吹田保育園は、近所で一緒にやってきた保育所ですし、色々大変なことはあっても、法人全体として積極的に引き継いでいきたいと考えていることをお伝えいたします。

委員長： 時間になりましたので、以上で質疑応答を終了いたします。本日はありがとうございました。

(社会福祉法人こぼと会退室)

(A法人入室)

委員長： A法人の企画提案を受けます。

A法人： A法人は、昭和 57 年から保育所事業を始めて、約 35 年間福祉活動を行ってまいりました。昨年 4 月から認定こども園になりましたが、吹田保育園は JR 以南地域にあり、吹二・吹南地区に近く、吹田保育園を引き受けることで、吹田の子育て支援事業に貢献できると考え、今回応募させていただきました。

教育保育で大切にしていることですが、自分を調整しながら主体的に学ぶという意味でのセルフレギュレーションを大切に考えています。何でも受け身で学んでいたら、学ぶことが好きでなくなり、やる気も無くなり、生きる力も失われます。現在、登校拒否やひきこもりのため高校を中退する子どもが大変な数になっております。受け身の一斉教育の弊害と考えております。かといってゆとり教育は失敗しましたので、自発性を養うと同時に我慢する力も教育を行って、サポートするようにしています。

3 歳から 5 歳までは月毎にテーマを決め、そのテーマに従い、プロジェクトコーナー、積み木コーナー、お絵描きコーナー、ままごとコーナー、数字や文字のコーナー、マンダラ塗り絵コーナー、知育玩具のゲームコーナー等各コーナーを設けて、子ども達が自発的に各コーナーへ行き、学び遊ぶようにしています。といっても決して放任ではなく、保育教諭が遊びや学びのサポートをするようにしています。障害のある子どももできるだけ保育室を視覚化して理解出来るようにし、同じように自発的に遊べるように空間を作っております。

また哲学の時間を取り入れ、好きとは何か、命とは何か、心とは何かなどの

テーマを4歳と5歳は考える時間を毎月設けております。現代社会はモノや情報にあふれており、選択する力が弱くなっています。選択する力も養うようにして生きる力を養います。現代西洋幼児思想であるフレーデル、シュタイナー、モンテッソーリ等の幼児教育保育の良いところ取りをした教育保育をしています。おもちゃもそれに伴って、知育玩具をたくさん使っております。又、世界がグローバル化する社会に対応するために国際人育成の教育保育もしております。日本の文化、外国の文化、芸能や文化、音楽、言葉などバランスよく取り入れております。

当園では、日常の保育以外に専門の講師によるサッカー、ショートテニス、合気道、英語、和太鼓、日舞等を行い、茶道、いけばな、座禅、マインドフルネスなども全て無料でやっております。提案としましては、外国人が近年多数来日されており、グローバル化が進む中、小学校でも英語が義務化されますので、国際人になれるように、外国人講師による英語遊びを三者懇談会で協議の上で導入したいと思っております。毎年、大阪大学から様々な国の留学生に来て頂き、国際交流もしております。大変好評なイベントとなっております。これも全て無料で行っております。三者懇談会で認めていただけるなら、専門講師によるサッカー遊びを無料でしたいと考えております。毎年当園は吹田市立総合運動場で、吹田カップを行い、大阪の大きな大会にも出ております。たくさんの園が保育にサッカーを年々導入しておりますし、体作りや運動遊びには良いと思います。保護者の方に大変好評です。

当園では、毎年近くの小学校の敬老会で和太鼓演奏を30年くらい演奏し、地域の高齢者の方々に大変喜んでいただいております。吹田保育園も和太鼓をされていると聞いておりますので、発展させて継続したいと思っております。色々な遊びができ、様々な経験をして、成長できる保育所を目指したいと考えております。

月2回、当園では集いの広場という誰が来ても良い育児支援イベントをしております。昨年度の地域支援活動での参加人数は、集いの広場、育児教室、園庭開放、サークル活動を合わせまして、およそ延べ4,300人になります。これに園児を加えたら、およそ延べ7,000人になります。毎年延べ11,000人強が参加しており10年以上やってまいりました。よくある園の行事とは別に、綱渡りやジャグリングをする芸人さん、腹話術、人形劇、リトミック、キッズダンス、ミニSL、焼き芋、伝承遊び、外国人による英語で遊ぼう、シャボン玉大会、プールで遊ぼう、子ども動物園なども10年以上しております。そこでは、園児も参加し、地域で子育てをされている方々も共に楽しみます。その後、地域の方々はお茶を飲んだりして、友人づくりや井戸端会議などサロンの場を提供しております。地域にも園児にも大変好評ですので、ぜひ吹田保育園

の行事を全て引き継いだ上で、これらの育児支援イベントも同じように全て無料で行いたいと思っております。

今はどこもばらばらになっている地域ですが、新たなコミュニティの形成に尽力したいと思っております。社会貢献活動のスマイルサポーターの配置など地域貢献にも挑戦したいと考えております。他にも国際貢献としまして、ペットボトルキャップ集め、空き缶集め、募金活動などを行い送金しております。

毎年近くにある特別養護老人ホームに園児たちと行かせてもらい交流しています。大変喜ばれておりまして、このような活動も行いたいと思っております。

保育教材などのおもちゃは、ヨーロッパ製の安全で考え抜かれた知育の木のおもちゃをたくさん増やしておりまして、楽器なども更に充実させていきたいと考えております。お父さんデーや祖父母の会など、世代間交流が新たにできて保護者の方々が違った切り口で集える場も提供したいと考えております。

また、食育にも力を入れております。バラエティに富んだ給食をさらに強化したいと考えております。手作りおやつも提供したいと考えております。

私個人の話になりますが、社会福祉法人として更に社会貢献するために、釜ヶ崎や梅田などでホームレスの方々に炊き出しやお弁当の配布等のボランティア活動を1年以上やっており、色々と学ばせていただいております。

人材確保についてですが、臨時雇用員の方々には出来るだけ残っていただきたいと考えております。男性保育士も導入したいと考えております。園が近くにありますので、職員が病欠をしたり、何かあればすぐに他の職員が駆けつけてサポートできると思っております。理事長や園長、主幹は吹田生まれの吹田育ちです。事務担当も長く吹田に住んでおります。園長予定者の主幹は、かつて子どもを吹田保育園に通わせた元保護者ですので、公立保育所のことや保護者会のあり方はよく知っておりますので、スムーズに引き継げると思っております。

職員研修につきましては、提出した平成29年度研修計画通りにしていきたいと思っております。職員の処遇については、残業が無く休憩をきちんと取り、有給もできるだけ取れるように余裕を持って働いてもらおうと思っております。無駄を省き、事務の効率化やIT化などを行いながら、労働環境の整備をしていきたいと思っております。メンタルヘルスも定期的に面談を行い、話を聞き、食事会や研修旅行、歓送迎会等、福利厚生にも力を入れていきます。大阪府社会福祉協議会の研修、企業による研修、外部研修など、園内外に行つての個別研修を行い、職員の資質の向上や専門性の向上を図って行きたいと思っております。

今後の展望としまして、子どもの利益を第一に考え、かつ、新たな子育てを

中心としたコミュニティの形成を図りたいと考えております。また、特別な支援を必要とする子ども一人ひとりが親から育ちを等しく保障されるような保育現場を目指します。

第三者評価を昨年9月に受けました。予備受審コース2回の方を受けましたので、結果は4月に出る予定になっております。今後も定期的に第三者評価を受けるつもりです。吹田保育園を引継いでからも、もちろん定期的に受けたいと思っております。吹田保育園を引き受けることになれば、ホームページを作って常に情報公開をしていきたいと思っております。地域に愛される保育所を目指します。吹田保育園の保育内容は変えずに、子どもと保護者の気持ちを大事にして、保護者の不安の解消しつつ、スムーズに引き継がせていただきたいと考えております。公立保育所を学ばせていただき、良いところは当園にも取り入れたいと思います。あくまでも子ども達の環境が変わらない配慮をした上で、自然とのふれあいを大切にされている公立と、ハード面もソフト面も柔軟に対応できる民間の良さを融合出来たら良いと思っております。今後さらに吹田保育園を育児支援の拠点として、更に充実発展させたいと考えます。最新で、安全で、安心できる施設にし、防犯に注意を注ぎたいと思います。耐震工事や大規模修繕を行われているとは思いますが、施設整備計画としましては、できる限りトイレ設備の補修や改装、各部屋の床や冷暖房設備のメンテナンス、電気代の見直し、給食室もできるだけ最新にしたいと考えております。

諸費用は吹田保育園と同じとし、余分な徴収は致しません。当園では、様々な遊びやカリキュラムを入れておりますが、基本的に吹田保育園の保育をそのまま引き継ぐつもりです。新しいことをするにしましても三者懇談会で協議の上で行いたいと思っております。

委員長： A法人の企画提案が終わりました。次に質疑応答を行います。

委員： 非常に多岐にわたる保育をされています。公立の保育をそのまま引き継ぐということですが、公立の保育とはどのような保育であるとお考えでしょうか。

A法人： 公立保育所は、子どもたちの育ちにとって基本の根っこの部分である子どもの気持ちや仲間づくりをすごく大切にされていると思っております。根っこの部分をきちんと育てなければ、枝葉ができません。また、当園と同じですが、子ども達の主体性をすごく大切にしながら保育をされていると思っております。

委員： 貴園の非常に多岐にわたる保育を、公立保育所の子ども達や保護者は受け入れてくれると思いませんか。

A法人： 教えるというよりは、子ども達が興味を持った遊びの一環としております。これらを全て吹田保育園で行うとは思っておりませんし、基本は、吹田保育園の保育を引き継ぎます。ただ、英語は小学校で義務化されますし、吹田はサッカー遊びが盛んです。三者懇談会で保護者の方と合意が得られたら、遊びの一環として、取り入れたいと思っています。

委員： どの事業者であっても、引き継いだ以上は自園の信念や理念を実現して行きたいと思えますし、公立保育所の内容そのままでは民間の良さが出て来ないと思えます。貴園と公立保育所の保育はかなり違うように思いますが、対応していくことはできますか。

A法人： 例えば、ショートテニスは10日に1回で1時間程度です。簡単なボール遊びの延長で、テニススクールで行うような本格的なものではないです。合気道も同じく10日に1回1時間程度で、遊びのような体操がかなりを占めています。たくさんのバリエーションの遊びを出来るだけ子ども達に提供したいという思いで行っています。

保護者の方の同意が前提ですが、三者懇談会で提案したいのは、サッカーと英語です。英語はネイティブの方に来ていただきますが、受験勉強の様な英語ではなく、遊びの延長でダンスや歌をします。

委員： 職員体制についてお伺いします。保育士の確保について何か独自のルートやプランがありますか。また、吹田保育園を引き継ぐ場合に、気をつけたい職員構成等について考えていましたら教えてください。

A法人： 職員確保に向けてハローワークや就職フェアを活用していますし、お仕事説明会等を園で行っております。学校から実習生を多く受け入れて、確保につなげたりもします。吹田保育園には、保育経験が長いベテランの先生が多くいらっしゃるということは十分分かっております。できるだけ経験値の高い先生に当園から行ってもらいます。当園はしばらく大変になると思いますが、そこはフォローしながらやっていこうと思っています。

委員： 今の園が大変になりますね。

A法人： これから1、2年で確保しながら育てていきますし、出産後に落ち着いた保育士に戻って来てもらうこともあります。吹田保育園は、場所的にも通える範

囲ですので、そこでも働くことができますとお伝えしながら確保していきたいです。

委員： 事業計画で毎年度 1,500 万円程度の積立を予定されていますが、どの程度の大規模修繕や建て替えを考えておられますか。

A法人： すでに耐震工事と大規模修繕を行っているとお伺いしています。外壁もきれいですので、大規模修繕等は考えておりません。すぐに大きな投資は必要ないと思っています。

委員： 毎年の積み立て予定は、大分先に備えてですか。

A法人： 給食の関係は調理室を見せていただいて、便利な器具を入れていきたいと思っています。建物にしても永久的に使えるものではないので、将来のことを考えて積み立てています。

委員： 平成 28 年 3 月の決算書に寄付金が 1,000 万円入っていますが、どなたからどのような内容の寄付ですか。

A法人： 私個人が寄附しました。母親の遺産相続をした分から 1,000 万円を寄附いたしました。社会福祉に役立てたいと思って行いましたが、特に具体的な目的はありません。

委員： 来期にはこの収入はないということですね。

事業収入については、吹田保育園と同じ内容のサービスを提供することによるもので、考えておられる追加サービス分は入っていないということですか。

A法人： はい。

委員： 先程の企画提案のなかで、残業を少なくして、有給もしっかり取れるように労働環境を整備するとのことでした。提出いただいた資料を確認しますと、平成 27 年と 28 年で 11 人ほどが自己都合退職をされています。その理由を教えてください。

また、有給取得率が 29.4%です。有給の取得率をこれから増やしていきたいというお考えなのか、そのためにどのように取り組まれていくのか教えてください。

A法人： 職員の離職理由については、結婚や夫の転勤、病気や介護等です。研修を行ったりして、出来るだけ職場環境を良くしていますが、なかなか難しいところもあります。特に今年は結婚と病気と介護が続きました。

有給取得率については、民営化応募の書類作成と第三者評価関係の業務で、なかなか有給が取れない時期がありました。今は仕事を分散させながら取得を進めています。

委員： 労働条件についてお伺いします。労働組合や職員の方と定期的にお話をされたりすることはありますか。

A法人： 労働組合はありませんが、春と秋と年度末に園長が面談を行っております。

委員： 保育士ができるだけ長く働き続けるために何が必要だと考えますか。

A法人： 面談をできるだけ繰り返すことが必要と考えており、E S 診断やメンタルヘルスに関する資格をとりました。その他にも研修や、食事会等でコミュニケーションをできるだけ取るようにしています。

また、第三者評価を受けて、反省点もありましたが、色々なことを再確認しました。日々の中で先生たちが達成感を得て、それがやりがいにつながりますし、この仕事は楽しい、素敵な仕事だなという気持ちを持ってもらうことが大切です。有給を取得しながら、仕事とプライベートを両立するバランスも大事だと感じています。

委員： 貴園には、保護者会や保護者の代表のような集団はあるのですか。

A法人： 保護者会はありません。

委員： 吹田保育園には保護者会がありますが、どのようにされますか。

A法人： 保護者会の良さは十分に分かっていますので、そのまま継続したいと思っています。

委員： 現在、保護者の方との定期的な話合いの場はありますか。

A法人： クラス懇談を行いますし、メールボックス等を置いていますので御意見はそこに入れていただいています。また、登降園時のコミュニケーションや、普段

の日常の会話の中で保護者の声を吸い上げています。

委員： 障がいやアレルギーをお持ちで、配慮が必要な子どもの受入れについて、これまでどのように対応されてきたのか教えてください。

A法人： アレルギーのお子さんは全てお受けして、できるだけ給食の提供を行うようにしています。当園は35年間保育を行ってきて、私自身も30年の保育歴がありますが、様々な配慮が必要なお子さんを引き受けてきました。DV家庭の方や虐待による施設入所の方もあり、吹田市や他の機関と連携しながら引き受けてきており、色々な経験を積んでいます。

委員： 提出いただいた献立表を見ましたが、平日に比べて土曜日のお昼が軽食だなという印象を受けました。この理由と、土曜日保育の子ども達が、おなかをすかせることがないのか教えてください。

A法人： 栄養士が、栄養バランスを考えて献立を作成しています。土曜日に子どもが少ないからというわけではないです。平日に比べると少ないように見えますが、パンの時は具だくさんのスープやチーズ、果物がついています。子ども達は、お替わりもしますので、おなかがすいたという声はありません。

委員： 吹田保育園では、地域の方との行事や他の私立園との交流を行っています。貴園は、吹田保育園と地域が少し離れていますが、地域交流を含めて、現在行っている行事をそのまま引き継いでいただけるのでしょうか。継続が難しい行事があれば教えてください。

A法人： すべて引き継ぎますし、引き継げないものはないと考えております。

委員： テニスやサッカー、合気道等の習い事が多くて、子ども達にとって負担になっていませんか。また4、5歳児になると、子どもにとって出来る出来ないが出てきます。選ぶものが増えれば増えるほど、この達成の差が子どもの気持ちにとって負担になってしまうのではないかと心配です。

また、色々な遊びを取り入れていった場合に、保護者からの費用徴収なしで可能なのかについても不安を感じます。

A法人： 先ほども申しあげましたが、遊びが中心です。お友達が出来て自分は出来ない、これは出来るけどあれが出来ないかについては、先生がフォローしてい

ます。出来る出来ないはあまり関係なく、みんなが楽しめる場を必ず用意しています。子ども達にはそれぞれ輝ける場所があると思っていますので、一人ひとりが輝ける場所を考えて、一人ひとりの様子を見ながらそういった場所を作るように努力をしております。

子ども一人ひとりが、それぞれ好きなことを遊びながら、楽しんでいる印象がありますので、負担になっているとはあまり思っておりません。子ども達に楽しんでもらえる色々な経験を提供したいと考えています。

費用負担については、ボランティアのような価格で人形劇をしてもらったり、大阪大学のボランティアさん等をお願いしていますので、保護者の方から徴収することはないと思っております。

委員： 4、5歳児のクラスでコーナー遊びをしていました。コーナー6つに対して先生は2人ですので、一つのコーナーに子ども達だけになってしまい、先生達とのコミュニケーションが少なくなることはないのですか。

A法人： 高さ等の工夫をしてコーナー全体を見渡せるようにしています。コミュニケーションについては、日々、子ども達のどの部分を気をつけるか等について、保育の打ち合わせしています。

委員： 安全面についてお聞きします。今は、安全監理員が2名おられますが、年齢が81歳と83歳になっています。お元気な方だとは思いますが、子ども達を追いかけるようなことがあった場合に、その方が転んだりしないか不安があります。吹田保育園を引き継がれた場合には、同じような方を雇用されるのでしょうか。

A法人： 最近は一人辞められまして、60代の方が代わりに来られています。吹田市のシルバー人材センターから派遣していただいておりますので、当園の考えというよりは、その方との相談が必要になります。

委員： 教室で魚や動物を飼っておられます。お部屋の入口にうさぎがいましたが、あのうさぎはずっとゲージに入っているのですか。

A法人： 通常はゲージにいますが、お昼には園庭でお散歩をしています。

委員： あのままでかわいいそうですし、同じように家でうさぎを飼っている子どもが、ずっとゲージに入れたままにしてしまうと困るなど思いましたので、質問

させてもらいました。

委員： 地域の子育て支援についてお聞きします。今の園では、色々な活動を地域の子育て支援としてされているようです。新しい地域になる吹田保育園に行かれた場合は、どのようにされますか。

A法人： 私は吹田保育園の地域で長く暮らしていますので、地域の特性等は大体知っています。引継ぎの時に、十分に話をお聞きしながら、地域のニーズに応じていきたいと思っております。

委員： 保健や衛生管理についてお聞きします。集団保育である以上は、保育内容だけでなく、保健や衛生面にも気を配らなければいけないと思います。この点に関する研修や取組等があればお聞かせください。

A法人： 職員会議の時に手洗いの方法等のマニュアル作りをしております。また栄養士が中心になってノロウイルス対処や洗濯方法、嘔吐時の処理の対応をしております。インフルエンザの時期が近付いて来ましたらその対策等もしております。病気の症状があった場合の対応について研修を設けたり、日々のミーティングの中で話し合いをしております。空気清浄器も設置しております。

委員： 主幹の先生が園長予定者ということですが、吹田保育園を引継いでいくにあたって、園長として特に配慮が必要と考える事をお聞かせください。

A法人： 子ども達や保護者の方の不安に対する配慮が必要と考えます。引継ぎをしっかりと行いながら子ども達のことを把握し、早く信頼関係を築いていきたいと思っております。あまり環境を変えると不安を与えるので、同じことの繰り返しを大事にしています。子ども達や保護者の方が不安になる材料を提供せず、話し合いやコミュニケーションを多くとること。信頼してもらって、安心してもらえる関係づくりが一番だと思っています。

委員長： 第三者評価を受けるためには、まず自己評価が必要になります。これまでは自己評価をされてきましたか。

A法人： これまでは、はっきりとはしていませんでした、第三者評価を受けるにあたってしっかりと行うことができました。

委員長： 今は、保育士の人材確保が非常に厳しく、有資格者であれば誰でも良いということにもなりかねません。就職してから、職員の力を更に高めていくためのシステムが必要と思います。そういった意味でキャリアパスモデルについては園でお持ちになっていますか。

A法人： OJTの研修や園内・園外研修、自己啓発の仕方についてマニュアルを作っており、徐々に進めています。それを定着させ、軌道に乗せて行くために日々努力を重ねています。

委員長： それが出来ていけば、位置づけや処遇等も連動していき、働く職員の喜びにつながります。

事故についてのリスクマネジメントが必要と考えていますが、ヒヤリハットの記録はつけていますか。

A法人： つけています。

委員長： 留学生の方々と交流があるとのことでしたが、外国人の子どもは園におられますか。その場合に宗教食等の問題はどうかされていますか。

A法人： 韓国のお子さんにお弁当が通じなかったことがあります。周りのサポートで問題はありませんでした。今まで大きなトラブルはありません。宗教食等については理解しております。

委員： 英語をぜひ吹田保育園でも取り入れたいというお話がありました。小学校から英語教育を行うことにはなりますが、日本語もまだ分からない小さい頃から英語を取り入れることについては、意見が分かれていると思います。この点について、現在貴園の保護者から意見が出たことはありませんか。

A法人： 英語はかなり前から行っており、保護者の方から喜んでいただいております。色々な先生とも御相談して、言葉としてではなく音として行っています。遊びとして、音として子ども達が英語に親しんでいくかたちです。言葉としては、まず日本語を覚えていきます。

委員： 現在、貴園では看護師を配置されていません。看護師の配置を行っていない理由と、吹田保育園を引き継いだ後の看護師確保についてどのような見込みを立てているか教えてください。

A法人： 看護師については、義務化されていないので、創立以来配置していません。何かあった場合には近くの病院に連れていきますので、あまり不便を感じたことはありません。採用については普通に募集する予定です。

委員長： 時間になりましたので質疑応答を終了いたします。本日はありがとうございました。

(A法人退室)

委員長： 全ての事業者の面接調査が終わりました。引続いて委員間協議を行います。

(委員間協議)

委員長： 委員間協議が終わりました。これより最終審査を行います。

### 3 事業者の最終審査

委員長： 事務局から最終審査の集計結果を報告願います。

事務局： 集計結果を報告いたします。

お手元に配布しました最終審査集計表を御確認ください。

最終審査集計表によりますと、社会福祉法人こばと会が9票を得ており、委員の過半数の得票を得ております。また、9名の委員が120点以上の採点をしており、過半数の委員が120点以上の採点をしております。

委員長： では、この採点結果を踏まえて、選定委員会としては、社会福祉法人こばと会を移管先候補事業者に選定したいと思います。

### 4 答申

事務局： 【答申書（案）を各委員に配付】

委員長： 本委員会は、吹田保育園及び藤白台保育園の移管先の選定について諮問をいただいておりますが、本日は吹田保育園の移管先の選定について答申を行います。事務局から答申書（案）が配布されました。この答申書（案）について、何か各委員のみなさんから御意見等はございますか。

(意見なし)

委員長： では、この答申書（案）を本委員会の答申書として決定いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

(異議なし)

委員長： 御異議なしと認め、この答申書（案）を本委員会の答申書として決定いたします。この答申につきましては、本委員会から市長に行うこととなりますが、本日市長は公務によりご欠席であるとお聞きしております。したがって、市を代表して児童部長に私から答申書をお渡しすることといたします。

(委員長による答申)

## 5 閉会

委員長： 以上をもちまして、本日の選定委員会を閉会いたします。委員の皆様からは、貴重な御意見をいただき、有意義な議論を行うことができたと思っています。お忙しい中、選定委員会に御参加いただきましたこと、私のほうからも重ねてお礼申し上げます。

吹田市におかれましては、答申の趣旨を尊重し、吹田保育園の円滑な移管に向けて御尽力いただきたいと思います。